



富原小学校だより

みどりの風

真庭市立富原小学校



2026.9.25

11

掃除の時間、ある先生が「これは、先生がついでに持って行っとくね。」と言われた言葉を受け、6年生の「ありがとうございます！」というはつらつとした声が聞こえました。

ある朝、出張に出かけようとしていたところ、運動会の練習に楽しそうに向かっていた2年生に「いってらっしゃい」と声をかけると、「いってきまーす！先生もいってらっしゃーい！」と大きな声が返ってきました。

何気ないよくあることかもしれませんが、こんな一言を返すことができる子ども達の心もちに温かい気持ちになりました。

運動会の練習をがんばっています

「楽しかったー。」「やったーできたー。」ソーラン踊りをしている子ども達は、新しい動きをやってみて曲に合わせてみて、一つずつ体を動かすことが楽しくなっているようです。この日は、SSWとSCの勤務日でした。「見て見て！」と誘う姿もあり、見てもらえるちょっとした緊張感が喜びに感じられるこの時間は、子ども達を成長させてくれます。

休み時間、一輪車の技に挑戦しています。宙乗りやバック、アイドリングや大車輪など。一人技が多いですが、いつも友達と声を掛け合って乗っています。昨日よりも遠くまで乗れた下学年の子に「すごい！乗れたなあ！」と声をかける思いやり合う子たちばかりです。（私は全く乗れません。応援専門です。）

竹馬ブームが起きました。今年は、大人や中高生の参加種目も多くあります。大人の一輪車と竹馬種目のために用意していたら、子ども達が「やるやる！貸して！」と盛り上がりました。何度も何度も挑戦するひたむきな姿に感動すら覚えます。もう一度言いますが、「大人の種目」なのに本当に素敵な子ども達です。



一輪車の練習



表現「ソーラン」



自主練習も余念なく

富原っ子 みんなで本気で がんばろう

スローガン

「運動会」という行事は、体育の運動発表という目的だけではなく、子ども達の成長に大きく寄与する学びの場です。ここに、保護者や地域の方、中学生や高校生、小さい子たち、先生方、多くの様々な人が集い関わりながら、練習してきたことの上にその場でしか創ることのできない深い宝物があります。どうぞ、みなさまお越しいただき、声援を送りながらその空気を一緒に創っていかれたらと期待しています。お待ちしております！

お茶っこ委員会「健康部」の発表

3年生以上で活動している委員会は、「運営部」と「健康部」があります。健康部では、全校児童の健康について「食」の視点で伝える活動をしました。自分たちでテーマを相談して、どんなことを調べるか自分たちで選んで、一人1枚のスライドにまとめました。練習も自主的にしたそうです。みんな興味深そうに聞いていました。夏の疲れが出る頃であり、運動会の練習も毎日あるので、とてもタイムリーな内容でした。

こんなとき何を食べる？



10月3日（土）富原小学校・富原地区合同運動会 （8：45開会）
12人が頑張ります！大人や中学生、高校生、小さいお子さんの種目もあります。
どうぞ、みなさん応援にもお越しく下さい！

学力調査の結果と問題傾向から見取る 学力向上に向けた取組

令和8年度

全国・県学力・学習状況調査結果から

4月23日に全国学力・学習状況調査が行われました。この調査は、児童の学力や学習環境・学習状況を全国・全県の結果に照らして把握・分析し、指導の充実、学習状況の改善に役立てるために行われています。

【問題の傾向から】

学力調査の問題の中には、これまでのものと比較して特徴的だと思われたのは、国語では「文章の書きぶり」の工夫を問われるものが多くありました。算数では、調査結果の表やグラフなど複数の情報が並べあり、どの情報を見ればよいのか、どれとどれをつないで見ていけばよいのかということ问われるものが多くありました。現代の溢れる情報の中から、必要な情報を見極めて判断していく力が求められています。また、自分の考えを伝えるための表現方法は、これからも必ず使う力として身に付けておきたい力です。

こうした問題と結果とを分析し、今後の授業づくりにいかすことを話し合いました。

【国語・算数の基礎力を基に自分から考えを深めたり、まとめて表現したりする力を伸ばそう！！】

国語では、資料から引用して書くということや文章構成の工夫を読み取ることにやや課題が見られました。

算数では、説明と表やグラフを関係づけて読み取ることに誤答が見られました。

しかし、国語も算数も正答率は高く、特に基礎的な内容は高く安定しており、学習したことが身に付いているといえる状況でした。また、自分の考えをまとめて書いたり、意味を説明したりすることもほぼできていました。

【分析】

◎これまで、協同学習や対話重視の授業の中で、自分の考えをもったり、他者の考えを聞き合ったりする学習の仕方を大事にした取組から、学びに向かう姿勢は確実に伸びているといえます。

◎無回答が0だったことも、時間配分を考えたり粘り強く取り組んだりする自己調整力が身に付いてきているともいえます。

◎低学年から一人一人個々の理解度や学習への関心度に応じた指導が丁寧に積み上げられており、少人数学級のよさが生かされていると考えられます。

【授業に関わる課題】（質問調査より）（4段階で「だいたい当てはまる」と回答）

国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていた
算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていた
自分と違う意見について考えるのは楽しい

【学校・児童の強み】（質問調査より）（4段階ですべて「当てはまる」と回答）

学校は楽しい 将来の夢や目標をもっている 算数の勉強は好き
先生は、よいところを認めてくれている 友達関係に満足している

普段の生活の中で幸せな気持ちになることがよくある

先生は、授業やテストで、間違えたところや理解できていないところについてわかるまで教えてくれている

友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる

国語や算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う

先生は、よいところや前よりもできるようになったところはどこか伝えてくれた

先生は、学習のうまくできていないところを伝え、どうしたらうまくできるようになるか教えてくれた

◎学習に向かう姿としては、富原の児童は意識を高くもって取り組んでいると思われます。しかし、まだ『自分から主体的に』『言葉で表現する』『つないで考える』『情報を必要に応じて処理する』等の力は、伸びるところがあります。国語科を軸に、対話することそのものや異なる考え方を聞き合うことそのものが楽しいと感じられ、主体的に学ぼうとする力がそだつように授業づくりを進めていきたいと思ひます。

【学習習慣・習慣形成】（質問調査より）

・平日の学校以外での学習時間・・・30分以上2時間より少ない

・平日、1日あたりスマホや携帯、PC、ゲーム機やタブレット等でSNSや動画視聴等をする時間
・・・1時間以上3時間より少ない

◎スマホ等の時間が長くなると、学習時間や睡眠時間は短くなっていきます。

◎『自分で「動画視聴はもう止めよう」と動けること』『学習時間を確保して学習習慣を当たり前にする』をめざす姿とします。学校での学習と家庭での学習習慣がつながり、子どもたちの学ぶ意欲が湧き、楽しく目標に向かっていけるよう、共に育ててまいりましょう。